

	ネパール		ベトナム	
	講座前	講座後	講座前	講座後
1	何となくインドに似ているような気がする。香辛料をよく使用している感じがする。	思っていたよりカースト制が厳しいことを知りました。多民族国家で言葉が沢山あることは知りませんでした。中東への出稼ぎが多いことも知りませんでした。	料理が優しい味でとても美味しい。ハーブが料理によく登場して沢山食べるイメージ。	ベトナム戦争のイメージはほぼなくなっている。大都会の国になっている。ベトナム人は小柄。
2	山	農業国であること。男性が出稼ぎに行っていること。相手のことを理解することは必要だと思います。	暑い	ベトナムの日本語学習者のことがよく分かりました。来日して勉強している人、働いている人を応援したくなりました。
3	高地。ヒマラヤ山脈。民族衣装の人。ナマステ。	身近に感じた。行ってみたいと思った。	ハノイに2回行ったことがある。20年前に行ったときは牧歌的なんびりした良い国だと思っていたが、コロナ前に行ったときは経済成長していて、観光的には少し失望。	ベトナムは今後ももっともっと成長してゆくだらう。
4	インドに三方囲まれている山国のイメージ。神様があちこちに祀られていて、人々は穏やかで優しく自然豊かだが、これといった産業がなく外国への出稼ぎが多い。	年末年始に10日ほどカトマンズ、ポカラを中心に訪ねてきました。都市部から観光地を巡った中でも初めて知ることが多かったですが、本日のお話を聞いて、まだまだ知るべきこと、見るべきことがあると思いました。ありがとうございました。	ベトナム戦争で深く傷ついた国というイメージ。日本から多くの支援をしている、ベトナムからも多くの人が学びや仕事のために来ている。	確かに戦争の影は」まだまだ残っている一方で、人々が逞しく力強く自分たちの暮らし、国をよりよくしようとしていることを知れて良かったです。
5	高地での生活	思った以上に差別が残っている。自由でない国。	親日。食べ物が美味しい。女性の服装がおしゃれ。	昭和の日本に似ている感じがしました。
6	50年前に行きました。インドの影響が強く(海に面していないため)苦勞されている様子でした。	特になし。	解放後(1989年)に行きました。世界の中でも素晴らしい国と思いました。共産党の政権でも権威主義を感じず、素晴らしい国だと思いました。ホーチミン市の大半は北ベトナムの人と聞き驚きました。	特になし。
7	エベレスト(チョモランマ)、トレッキング、バックパッカー、政情不安	多くの言語が話されていることやカースト制が残っていること、一夫多妻制など知って驚いた。観光立国の国だと思っていたが、まだ貧しい生活が続いていることも意外だった。	フォーなどの美味しい食べ物、共産主義国、多民族、山岳民族、ベトナム戦争	若者の間で日本語が人気があるのは初めて知った。親日の国なので、これからはイメージを壊さないようにしていかなければと思い、少し不安になることもあった。
8	エベレストがある。山岳地帯。	生活スタイル、文化、習慣について具体的に知ることが出来ました。"郷に入っては・・・"の格言をしみじみ感じました。	行ったことがないのですが、娘の夫が4年ぐらい仕事で赴任したので興味があります。	行ってみようかと思いつつ、行かずじまいでした。ホーチミンにあるベトナム戦争証跡博物館、行ってみたいです。(自分が子供のころ、親からベトナム戦争について教えてもらったぐらいしか知らないで)
9	経済的な発展が滞っていて治安もよくない。市内区内への移入が多い。	経済的に豊かでない、どちらかというと貧しい国なのにネパールの虜になられたという先生のお話から、幸福感というか、生きることの充実感というのは、お金のあふれとは別のものなのだと改めて思いました。	経済的な発展が著しい。市内区内への移入が増加してきている。ベトナムの女性は控えめで礼儀正しい。ロシア人や欧米人が行く有名リゾート地がある。ベトナムの料理は辛そうなので、苦手な感じがする。	活気にあふれた国というのがお話を通じて伝わってきました。大変な苦勞の末に来日する技能実習生の方を、制度を充実させてきちんと受け入れてゆく様に国が政策としてやってほしい。
10	高く美しい山々の国。ダルバート。	教育事情がよく分かり、より関心をもった。	勤勉な人々、アオザイ、細長い国。急成長する経済、人口。かつて南北に分れ、ベトナム戦争があった。	ベトナムの景色が好きで3回ほど旅行した。事があったが、教育の面から国を知ることができてありがたかった。身近にもベトナムからきている人々をよく見るので、話しかけてみたい。

11	ヒマラヤ山脈のある国。ネパール料理。	テレビなどの放送で知るだけでしたが、日常生活の様子(住まい、食べ物、学校)などが身近に分かり感じられました。エベレスト登山の番組で知ることはごく一部で、もっと沢山の人の様子を知りたいと思いました。	古い都のある国。ベトナム戦争。ベトナム料理。アオザイ。	ベトナムは観光旅行で行きました。北から南まで巡り、とても印象に残りました。食べ物も、人も気に入りましたが、まだベトナム戦争の傷跡があちこちに残っていました。ベトナム人のツアーガイドが若い方で、日本人相手と心配だったが、みなさんととても良い人たちで嬉しかったと話していたことも思い出に残っています。
12	エベレスト・家族を大切にしている お父さんが家長！ 絶対的な存在 名字が同じ人が多い 料理屋さんが多い	男性たちは国外へ	技能実習生	都市化が進んでいる 若い！国 日本語を学んでいる。第一言語としている
13	山の美しさ	山の美しさに魅せられた。 男尊女卑的な習慣が残っているのは驚きで、若い人たちは考えを改めてくれるよう期待している。 日本に住んでいるネパールの方に、ちょっと勇気を出して声をかけてみようと思決した。 それからネパール語も勉強したい。	食べ物が美味しい国	バイクが多いけど道を渡るところから練習したい。 無理矢理でも時間を作ってベトナムを訪問してみたい。 母を連れていきたい。 私もJICAボランティアに参加出来るぎりぎりの年齢になったので、情報集めをしたい。
14	ネパールの人がたくさん日本に在住していることを学びましたが、身近にお会いすることがありません。 カレー料理のイメージくらいです。 ヒマラヤ山脈	先生がネパールのこと大好きなことが伝わって楽しく聞かせていただきました。 貧しくとも人々が穏やかそう。 もっと若かったらボランティアに行くことも、ですが。 何か日本でできるお手伝いがあったら、あったら、と思います。	こどもが小学校の頃、難民で逃げてきた人たちが来て、同級生にもベトナムの子が来て遊んだりしていました。今は復興著しく発展している国のイメージ。 日本にもたくさん働きに来ている人がいる。時折、悪事をはたらいた人がニュースに出たりしてイメージを悪くしているのが残念。	夢と希望を持って日本に来る若いベトナムの人たちが、安心して生活できるように、政府でも体制を整えてほしいと思います。 "排外主義"がはびこってきそうな情勢に不安を覚えます。
15	身分制。男尊女卑	「相手を知って相手に対応する。」 同感です 「相手を否定しない対応をする。」 同感です。	ベトナム戦争があった国 ブローカーの存在	ベトナムにない日本の小学校教育事情 「居場所作り」 同感です。
16	日本への就業の為の訪問者が増えている。	予想していた以上に田舎。今でも本当にそうなのか？ 未だ疑問。	経済が発展している国という印象。 但し、現状でも経済良いのか？	日本語勉強が、広く採用されていると聞きおどろいた。
17	ヒマラヤ山脈に行ってみたい。 山岳地帯で身体能力が高い。 ネパール歴がある。パスポートとかは西暦で取得。 祝祭日が多い。ヒンドゥー教、仏教など様々な宗教が各々休み。 1度も統治されたことがない国 日本の旅館等でたくさん働いている、親切な人のイメージ。	各々の民族で全く言葉や文化が違うことが分かりました。 ネパールの方のイメージは変わらないです。	フランス領だった。 フォーなどおいしくたべやすい料理 ベトナムコーヒー ダナン、ホイアンに行ってみたい 雑貨がかわいい、あおざいとか。 ホテル三ヶ月とか、有名なホテルが進出している。 LAVAのスタジオもできた。 ベトナム戦争の枯葉剤の影響のベトちゃんドクちゃんなど、小学校の頃読んだ本が切なかった。 若者が多いが、国内での就職がない。 真面目な国民性のイメージ。	北と南で各々文化や気候が違うことを学びました。 日本とほぼ同じ大きさ、人口に親近感がわきました。 日本に行くためにすごく訓練されている、技能実習生の方たちがすごいと思いました。

18	親日的。貧しい。識字率70%位。	住んでいる村（町）によって、同じネパール語でも違いがあることを知ることができた。 これから、どのように学習支援をしていけるか・・・。	親日的	明るくエネルギーがある国ということを知った。 希望を持って日本に来た実習生たちの日本でのギャップ！
19	ネパールの方の日本語ボランティアを10カ月やっています。その間にネパールのことについていろいろ教えて頂くことがあり（食、祭、生活など）一度行ってみたいと思います。ネパールの方は礼儀正しく日本人の考えに近いイメージです。	ネパールの社会的なしくみについて知ることが出来ました。 行ってみると観光だけでなくもう少し生活レベルに合ったことを学んでみたいです。	娘の仕事について一度行ったことがあります。（20年前） 今はだいぶちがうと思うので楽しみにしています。 ベトナムの方は勤勉なイメージです。	地域によっていろいろな所があることを知りました。 いろいろな所に行ってみたいです。
20	経済的には後進国 民族・人種的には日本人に近く、まじめで勤勉な人たち 日本への出稼ぎが多い（技能実習、特定技能など） エベレストに近く、山岳地帯が多い	カースト制度の名残があるとは知りませんでした。 多神教のところは、日本に近いと感じます。（やおよろずの神）	ベトナム戦争を闘い抜いた強い国民性 経済的には後進国、農業中心の国 日本への出稼ぎが多い（技能実習、特定技能）	経済成長が急げきと感じました。 日本語教育が盛んであることに親近感を感じました。
21	カレー 登山	先生のエネルギッシュなご様子に感銘を受けました。 自分のやり方を相手に押しつけないというのはとても大切なことだと、改めて考えさせられました。	フランスの植民地であった	ベトナムでそんなに日本語学習が盛んになっていると知り、驚くと共に嬉しいような気持ちになりました。 小さな一歩でも、自分に出来ることから始めることは大事かなと感じました。
22	山 言葉が難しい 仏教	ヒンドゥー教の国。 カースト制度がまだ残っている。 思ったより町である。 たくさんの民族が暮らしている（お互いに言葉が通じないことも）	都会 ご飯がおいしい 物価が安い	小学校から日本語を勉強できる。 国が日本語教育に力を入れており、学習者が多いが、先生が足りない。 若い人が多く、エネルギッシュな国。 先生方のお話は大変興味深かったです。 もっと質問の時間が長ければいいと思いました。 質問したいことがたくさんあります。



今回の講義を通じて、ネパールやベトナムについての理解が大きく深まりました。
それぞれの国の文化的背景や価値観を知ることで相手への支援の在り方が良い方向へつながることを実感いたしました。

